



株式
会社

中山製鋼所

第128期 (2021年度) 中間報告書

2021年4月1日→2021年9月30日

目次

株主の皆様へ	1
連結業績の推移	3
連結財務諸表の概要	4
トピックス	5
会社の概要	6

証券コード 5408

株主の皆様へ

平素は、格別のご厚情を賜り、心から厚くお礼申しあげます。

さて、2021年度上半期（2021年4月1日～2021年9月30日）が終了いたしましたので、当社の事業の概況につきまして、ご報告申しあげます。

2021年11月

代表取締役社長 箱守 一昭



事業の概況

当上半期におけるわが国経済は、経済活動の制限は続いておりましたが、ワクチン接種が進むにつれ新型コロナウイルス感染症の拡大は抑えられつつあり、民間消費や民間設備投資は徐々に持ち直しの動きを見せ始めております。

当社グループの主力事業である鉄鋼業界におきましては、製造業向けで自動車業界が半導体や部品の供給不足により一部で生産停止などがありました。産業機械向けや建築向けの需要は増加傾向にあり、総じて鉄鋼需要は堅調に推移しました。これを背景に、鋼材販売価格は上昇基調で推移してまいりましたが、一方で主原料価格も上昇しており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画（2019年度～2021年度）の方針に沿って、電気炉合理化投資効果の発揮やグループの協働施策の実行など、重点施策を推進してまいりました。

〔鉄鋼事業〕

鉄鋼事業につきましては、国内向けの鉄鋼需要は回復傾向にあり、前年同期に比べて鋼材販売価格は増加しま

した。また、原料高や海外製品市況の上昇を受けて鋼材販売価格は前年同期に比べて大幅に上昇しましたが、主原料であるスクラップ価格や鋼片価格はそれ以上に上昇し、鋼材スプレッドは前年同期に比べて悪化しました。しかし、販売数量の増加による収益効果や操業努力によるコスト改善などがあったため、前年同期比で増収増益となりました。

これらの結果、売上高は721億43百万円（前年同期比209億78百万円増収）、経常利益は21億27百万円（前年同期比12億32百万円増益）となりました。

〔エンジニアリング事業・不動産事業〕

エンジニアリング事業につきましては、鋳機部門の受注が減少しましたが、海洋部門および建設部門の受注が増加したことなどにより、売上高は8億3百万円（前年同期比88百万円増収）、経常利益は18百万円（前年同期比18百万円増益）となりました。

不動産事業につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は4億14百万円（前年同期比8

百万円減収)、経常利益は2億79百万円(前年同期比5百万円増益)となりました。

以上の結果、当上半期の連結業績につきましては、売上高733億61百万円(前年同期比210億59百万円増収)、営業利益23億20百万円(前年同期比13億47百万円増益)、経常利益20億69百万円(前年同期比9億96百万円増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益12億70百万円(前年同期比4億円増益)となりました。

当期の中間配当につきましては、現状の見通しや今後の業績などを総合的に勘案し、1株当たり4円とさせていただきます。

なお、当期の期末配当につきましては、業績予想の修正を踏まえて1株当たり4円の予想から8円増配の12円とさせていただきます、この結果、期末配当を含めた年間配当金を16円とする予定です。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ワクチン接種率の上昇に伴い新型コロナウイルス感染症は収束に向かうことが期待される中、わが国経済においては、経済活動の制限が緩和され、民間消費や雇用環境、設備投資活動は回復に向かうものと思われます。当社グループを取り巻く環境につきましては、鋼材需要は国内向けを中心に回復の動きを見せ、鋼材市況が上昇することが期待される一方で、スクラップなどの主原料価格に加えエネルギー、諸資材価格も上昇しており、先行き不透明な状況が続くことが予想されます。

このような環境のもと、当社グループは電気炉の生産性向上や加工ビジネスの強化など諸施策を実行し、中期経営計画の最終年度の目標を達成すべく努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、以上の諸事情をご賢察のうえ、今後とも何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画の概要(2019年度～2021年度)

<中期経営計画の基本方針>

- (1) “中山らしさ”を活かした事業展開・営業推進による収益力強化
- (2) グループ一体経営の推進による連結収益最大化
- (3) 圧延受委託をはじめとする双方のメリットを追求した日本製鉄グループとのパートナー関係の維持・深化

<中期経営計画の重点施策>

- (1) 自家電気炉鉄源の比率アップと購入鉄源のさらなる安定調達を目指します
- (2) グループの販売品種構成の最適化と高付加価値商品の拡販を目指します
- (3) 圧延受委託をはじめとする双方のメリットを追求した日本製鉄グループとのパートナー関係の維持・深化を目指します
- (4) 加工ビジネス(C形鋼・パイプ製品、縞板製品)をグループ一体となってさらに推進します
- (5) 当社およびグループ会社の製造・加工拠点を活かした地場密着営業をさらに推進します

<2021年度の連結財務目標>

- (1) グループ連結収益の最大化

経常利益額	2021年度	80億円
-------	--------	------

- (2) 成長戦略投資の実行

設備投資額	150億円程度/3年
-------	------------

- (3) 財務体質の健全性確保(実質無借金継続)

Net有利子負債	2022年3月末	▲75億円
----------	----------	-------

- (4) 株主還元の改善

配当性向	2021年度	20%以上
------	--------	-------

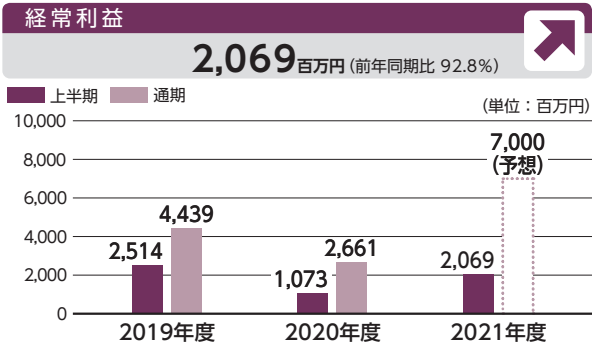
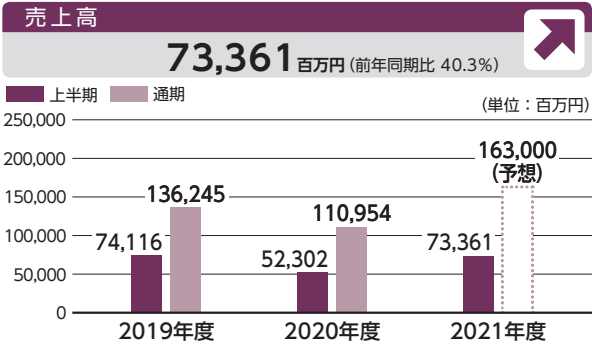
- (5) 資本コストに見合った資本効率の確保

ROE	2021年度	6%
-----	--------	----

連結業績の推移

(2021年9月30日現在)

■ 財産および損益の状況



区分	年度・期	2019年度		2020年度		2021年度
		上半期	通期	上半期	通期	上半期
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	38.32	53.83	16.08	43.52	23.46
総 資 産	(百万円)	122,694	119,445	117,146	122,982	131,546
純 資 産	(百万円)	81,664	81,750	82,389	84,356	85,563
有 利 子 負 債	(百万円)	8,223	7,763	7,193	6,751	6,285

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首より適用しております。2020年度の業績につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

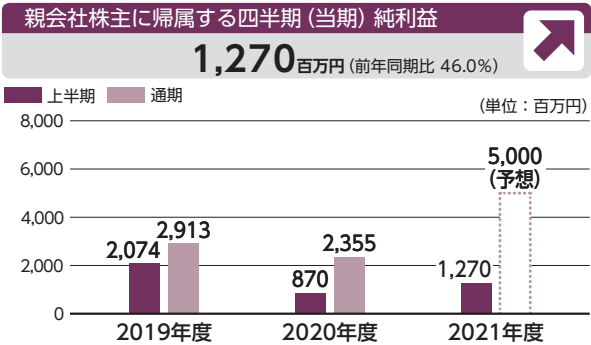
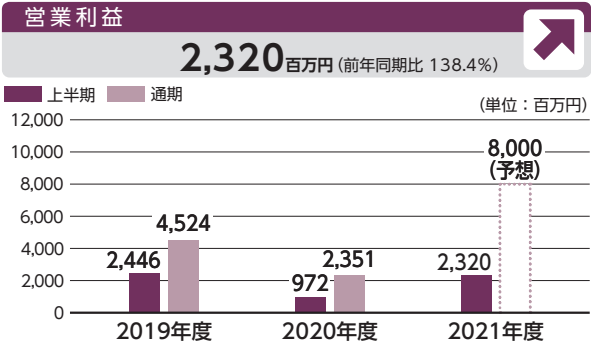
■ セグメント情報

(2021年4月1日から2021年9月30日まで)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鉄鋼	エンジニアリング	不動産	計		
売 上 高	72,143	803	414	73,361	—	73,361
セグメント利益(経常利益)	2,127	18	279	2,425	△355	2,069

(注) 金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。



連結財務諸表の概要

連結貸借対照表 (2021年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	83,454	流動負債	36,933
現金及び預金	19,025	支払手形及び買掛金	24,297
受取手形、売掛金及び契約資産	27,056	電子記録債務	1,426
電子記録債権	6,340	短期借入金	5,997
商品及び製品	13,599	1年内償還予定の社債	42
仕掛品	3,521	未払金	1,666
原材料及び貯蔵品	11,042	未払費用	1,320
その他	2,926	未払法人税等	730
貸倒引当金	△59	賞与引当金	807
固定資産	48,092	環境対策引当金	18
有形固定資産	41,886	その他	627
建物及び構築物(純額)	6,810	固定負債	9,049
機械及び装置(純額)	10,879	社債	48
土地	23,094	長期借入金	197
その他(純額)	1,101	繰延税金負債	3,227
無形固定資産	263	再評価に係る繰延税金負債	1,001
投資その他の資産	5,943	環境対策引当金	424
投資有価証券	2,749	解体撤去引当金	404
差入保証金	1,866	関係会社事業損失引当金	55
その他	1,367	退職給付に係る負債	2,615
貸倒引当金	△40	負ののれん	1
資産合計	131,546	その他	1,072
		負債合計	45,983
		(純資産の部)	
		株主資本	82,082
		資本金	20,044
		資本剰余金	7,826
		利益剰余金	54,987
		自己株式	△775
		その他の包括利益累計額	3,480
		その他有価証券評価差額金	1,070
		繰延ヘッジ損益	0
		土地再評価差額金	2,492
		退職給付に係る調整累計額	△82
		純資産合計	85,563
		負債純資産合計	131,546

連結キャッシュ・フロー計算書 (2021年4月1日から2021年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,587
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△721
現金及び現金同等物の増減額	697
現金及び現金同等物の期首残高	18,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,005

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (2021年4月1日から2021年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	73,361
売上原価	64,915
売上総利益	8,446
販売費及び一般管理費	6,126
販売費	3,035
一般管理費	3,091
営業利益	2,320
営業外収益	197
受取利息	29
受取配当金	34
負ののれん償却額	1
持分法による投資利益	65
その他	66
営業外費用	447
支払利息	48
賃借料	73
補修費用	214
その他	111
経常利益	2,069
特別利益	48
関係会社事業損失引当金戻入額	25
固定資産売却益	11
環境対策引当金戻入額	11
特別損失	207
固定資産除却損	203
その他	4
税金等調整前四半期純利益	1,910
法人税、住民税及び事業税	682
法人税等調整額	△42
四半期純利益	1,270
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,270

トピックス

CSR報告書2021 発行

本年11月、当社は「中山製鋼所グループ CSR報告書2021」を発行し、当社ホームページに掲載いたしました。

本報告書は、中山製鋼所グループの中長期的な企業価値向上への取り組みをESG（「環境」「社会」「ガバナンス」）の観点から、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様に当社グループの取り組み状況をご認識、ご理解いただくことを目的に網羅的に紹介しております。

「2021年度 中期経営計画基本方針」を柱に、当社グループの経営基盤の構築にむけ、グループ協働により継続的な取り組みを加速させ目標を達成してまいります。

本報告書は、当社ホームページ（<https://www.nakayama-steel.co.jp/>）からご覧いただけます。

ぜひ、ご高覧のほどよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策

本年7月から8月に、新型コロナウイルス感染症の発症を予防するため、当社産業医である医療法人 医信会 高石加茂病院と連携し、中山製鋼所グループ役職員、ならびにそのご家族、協力会社、地域企業の皆様等を対象に、延べ1,200名に職域接種を実施しました。

今後も当社グループ役職員・関係者の皆様の健康や、健全な企業活動を維持するために、新型コロナウイルス感染症対策を実施してまいります。

耐震化工事 実施・事業継続計画（BCP）策定

本年2月からスタートした当社 総合管理センターの耐震化工事が8月末をもって完了しました。耐震化工事施工中は、取引先・協力会社・関係者の皆様には、大変ご不便をおかけいたしました。ご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

建屋の耐震性を高め安全性を確保することは極めて重要であり、今後、未整備の建屋等の耐震化を順次進め、当社役職員および地域の皆様のため安全性の確保に備えてまいります。

また、9月には、事業継続計画（BCP）を策定いたしました。事業継続計画は、当社役職員およびそのご家族、地域の皆様の安全を確保しながら当社事業を適切に継続・運営することを目的としており、毎年更新していく予定としております。

三泉シャヤー株式会社 当社構内に新工場建設

当社グループで鋼板の加工、販売を専業とする三泉シャヤー株式会社は、当社構内に新工場を建設し、現本社工場を新工場に集約します。かねてより、同社では付加価値の高い加工品を拡販するため、加工設備増強を検討しており、当社構内の既存建屋を有効活用する新工場建設を決定しました。

新工場の建屋面積は5,700㎡で、現本社工場1,200㎡の5倍近い広さとなり、12kwファイバーレーザー切断機、プラズマ切断機、シャーリングマシン、開先加工機の新規導入、現本社工場のプラズマ切断機、プレスブレイキの移設が可能となります。

新工場の稼働は2023年4月を予定しており、稼働後の同社販売量は2,200～2,300トン/月（現状1,500～1,600トン/月）、加工品比率は35%（現状17～20%）を計画しており、グループ全体で鋼板の高付加価値化を図ることを目指します。

会社の概要

(2021年9月30日現在)

会社設立 1923年(大正12年)12月22日

資本金 20,044,777,066円

主要な事業内容

鉄鋼事業

鋼材 鋼板 熱延鋼帯、厚板、中板、縞板、鍍金鋼帯
条鋼 線材、バーインコイル、棒鋼、軽量C形鋼、パイプ、
線材二次製品
鋼片、副産物等

エンジニアリング事業

海洋(鋼製魚礁・増殖礁・浮漁礁回収)、ロール、バルブ、機械加工等

不動産事業

不動産の賃貸・売買

主な事業所

【本社・船町工場】

〒551-8551 大阪市大正区船町一丁目1番66号
電話／06-6555-3111(総合案内) FAX／06-6555-3170

【東京支店】

〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目16番11号
日本橋セントラルスクエア 5階
電話／03-5204-3070 FAX／03-5255-8355

【名古屋営業所】

〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号
大東海ビル 4階
電話／052-571-7222 FAX／052-571-8105

従業員の状況

連結 1,206名 単体 539名

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

連結子会社 (6社)

中山三星建材株式会社、中山通商株式会社、三星商事株式会社
三星海運株式会社、中山興産株式会社、三泉シヤー株式会社

持分法適用会社 (1社)

日鉄バルテン株式会社

株式の状況

発行可能株式総数 150,000,000株

発行済株式の総数 63,079,256株

株主数 11,612名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
阪和興業株式会社	8,058	12.83
日本製鉄株式会社	6,181	9.84
エア・ウォーター株式会社	4,729	7.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,355	5.34
日鉄物産株式会社	3,111	4.95
中山三星建材株式会社	2,519	4.01
中山通商株式会社	2,266	3.60
三星海運株式会社	1,947	3.10
三星商事株式会社	1,933	3.07
大阪瓦斯株式会社	1,923	3.06

(注) 持株比率は自己株式(275,708株)を控除して算出しております。

取締役および監査役

代表取締役社長	箱守一昭
専務取締役	中村佐知大
常務取締役	内藤伸彦
常務取締役	森川昌浩
取締役	中務正裕
取締役	喜多澤昇
監査役(常勤)	岸田良平
監査役	角田昌也
監査役	津田和義

(注) 1. 中務正裕および喜多澤 昇の両氏は、社外取締役であります。
2. 角田昌也および津田和義の両氏は、社外監査役であります。

執行役員

常務執行役員	川井啓
執行役員	西口昭
執行役員	阪口彦
執行役員	安樂和
執行役員	柴原善
執行役員	岡村洋
執行役員	信孝

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告 https://www.nakayama-steel.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ 単元未満株式(1～99株)の買取・買増制度のご案内

当社では、市場でお取引できない単元未満株式（1～99株）の買取制度および買増制度を採用しております。手数料は無料ですので、ぜひご活用ください。

※買取制度：ご所有の単元未満株式（1～99株）を当社が市場価格で買い取らせていただく制度です。

買増制度：単元未満株式をご所有の場合に、あわせて100株にするのに必要な株式を当社から市場価格で買い増しすることができる制度です。

【お問い合わせ先】

〈証券会社等の口座に株式をご所有の株主様〉
口座を開設されている証券会社等

〈特別口座で株式をご所有の株主様〉
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部



NAKAYAMA
STEEL WORKS, LTD.

<https://www.nakayama-steel.co.jp/>



この冊子は環境に配慮した植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。